

行事報告書(恋今*組)^{れんこん}

報告者:高橋美千代

行事名	秋の東お多福山観察会
実施日時	2022年10月4日(火) 9時15分~15時
行先	東お多福山
テーマ	秋の草花に親しみながら 東お多福山の保全活動を知る
参加者	足立・木村(俊)・小山・林・樋口・藤野・藤原(泰)・松生・吉田・高橋(美) (10名)

経過・状況



今年の4/7 新人歓迎会で、東お多福山の保全活動をされていると、小耳にはさんだのがきっかけで28期の樋口さんにガイドをお願いしました。あれから7か月、どんよりとした雲がありながらも、秋の風を感じる素敵な1日になりました。まず、キクバヤマボクチやポタンヅルたちが私たちを迎えてくれました。東尾根はちょっとした登山道で息が少し切れます。でもアケビやヤマイモのムカゴを採ったり食べたりと疲れを忘れさせるほどはしゃぎ合いました。むかごを生で食べたのは生まれて初めてで癖になる味と食感！眺望点Aでは、ポーアイや六甲アイランドが良く見え、これからの草原の観察に期待がふくらみます。綺麗に刈り込まれた草原の道で最初に出会ったのが、オトギリソウ(弟切草)。名前の由来を教えてください。『弟が、秘伝の傷薬であるオトギリソウの存在を他人にばらした。怒った兄に切り殺され、その時飛び散った血痕が、葉や花に黒い斑点となって残った』。ループの上にスマホをかざすとホントだ！すご～！納得！緑の中にたたずむ、ツリガネニンジンの薄紫色にハッとさせられたり、つぼみのリンドウ、実になったキキョウ、幼木ながら緑のイガをつけたクリ。そして保全で育まれた、秋風にゆれるススキたち。感謝感謝です。大きなマツの木の周辺で昼食、気持ちいい～～。食後は時間の都合で北尾根を降り、土樋割峠へ向かう。テイショウソウ、ケシロヨメナ、ナギナタコウジュ、サワガニ、タゴガエル、最後はミカエリソウを見返りながら…本日は、樋口さん林さんそして皆様に、色々とお教えていただきありがとうございました。こちらでは毎月1回観察会があるとの事、また参加したいです。お疲れ様でした。

* 次回はオプションとして11月2日(水)「コスモス祭りとかワラサイコ救出作戦」

* 11月定例は11月22日(火)「桜の園紅葉狩りと畑熊商店」



ポタンヅル



ノササゲ



オトギリソウ
名前の由来に
ゾットする～



サワガニ(メス)



タゴガエル



東尾根急登～



ムカゴ採り
皆で協力！



お弁当を食べる1番ステキな場所



センブリまだ薺



リンドウヤ

テイショウリュウ



ミカエリソウ



ナギナタコウジュ